

議会報告会記録（平成 25 年 5 月 10 日（金） コミセン小ホール）

1 部 議会報告

問：3 月議会の請願の議長裁決について、今回は現状を維持するという形をとったが、議案によっては議長が賛成をしても反対をしてもよいのか。

回：本会議において賛否同数の場合は議長の判断で決まる。議会運営規則の中に現状維持の原則があって、今回はその原則に従った。

問：議長としては今回の請願に対して反対だったのか、賛成だったのか。

答：総務委員会では委員として請願に反対をした。本会議では議長としての判断をしたということ。

2 部 意見交換（若者が住みたい地域づくり）

問：加西市は交通機関もないし、店が閉まるのも早い。若い人はどうしても市外に出て行って、市外に定住してしまう傾向が強いと思う。もう少し他市とつながるインフラ整備、早朝、夜の交通事情を改善できないか。

答：交通弱者いわゆる高齢者の対策は考えてきたが、これからは若者を対象とした交通アクセスも考えていきたい。

問：加西市はまだまだ周辺自治体に比べて公共料金や生活費が高い。施策は色々つくっているがまだまだ不足している。新婚世帯の家賃補助にしても 3 年では短すぎる。

答：加西市は公共料金等が高いと言われるが、税金、固定資産税は他と同じ、水道料金にしても加東市よりは若干安い。

新婚世帯の家賃補助にしても財源があれば 5 年、10 年としたいが、そんなにゆとりがないので 3 年になっている。今後議会として有効な施策となるような提案をしていきたい。

問：財源がないのならば、広くばらまかずにもっと集中して投入すべき。

答：今後選択と集中をしっかりとやるよう提言していきたい。

問：北条高校は昔はレベルが高かったが今はレベルが低くなっている。人口を増加させるためにも、もっといい先生を呼んできて北条高校のレベルを高くしてほしい。

答：北条高校のレベルアップについては議員、市長からも要望し、働きかけをしている。大学入試の実績で評価されるので、出来るだけ進学率を上げるようこれからも働きかけをしていきたい。

人口増に関しては打てるだけの手は打っている。しかしこれで十分ということではない。市民からも色々な案を出して頂いてどんどん有効な施策を考えたい。

問：議員でも特定の人に動かされている。日本人である限りは国旗を尊重してほしい。

答：みんな自分でしっかりと考えて判断をしている。国旗をあげない議会が出来が悪いわけではない。

問：5万人都市再生という事で頑張ってもらえた。しかしどこの都市を見ても人口が減っているこの時代にこの目標はあまりにもハードルが高い。舵を切るときは思い切って舵を切ってもらいたい。

今昼間の人口は増えていて活気がある。もっと企業を元気にして昼間の人口を増やすべき。

答：確かに5万人都市のハードルは高い。また、工業団地には他都市から大勢の人が加西市に働きに来ている。そのあたりはさらに力を入れてやって行きたい。

問：教育長の人権問題で、第一審の判決が出た。議会でも取り上げられているが、ある議員はそれを抑えようとしている。市長に言っても控訴を理由に取り合わない。どう思っているのか。

答：ここは議員個人の意見を言う所ではない。これらの問題に対しては議会としてきちんと対応していく。